

工 種	名 称	試 験 項 目	品 質 規 格		
34 電線共同溝工 (管路工)	S V P 管 (電力系)	施工後の導通性	150mm管材は管路の曲げ半径に応じた配管用ボビン(鉛製)が通過し、かつ通した配管用ボビンに損傷が認められないこと(全管)		
			管路の曲げ半径	配管用ボビンの仕様	
			( m )	L:長さ(mm)	D:外径(mm)
			1.2 ~ 5 未満	200	140
			5 以上	400	
1. ボビンの形状はI型またはダンベル型とする。(下図参照) 2. ボビンの挿入に当たっては、必ず引き戻しワイヤーを通しておくこと。 3. 導通試験完了後、ケーブル引き入れ用の呼び線を管路に挿入残置すること。 4 通過試験後、管路通過性能確認書(様式-1)を提出する。 (参考)ボビン形状 I型  ダンベル型					
R V 管 (N T T 系)	施工後の導通性	P V 75の管材は、73mm、L = 300, 600mmのマンドレルがスムーズに全管通過すること 注 1 ) ハンドホル-ハンドホルが150m未満 マンドレル L = 300mm ハンドホル-ハンドホルが150m以上 マンドレル L = 600mm 注 2 ) 通線用ひもを通して通過試験後、通線用ひもは管路内に残置すること。 注 3 ) 通過試験後、管路通過性能確認書(様式-1)により提出する。			
		施工後の水密性 管路内気圧500gf/ )で3分間放置して、圧力低下20gf/ )以下であること。 試験は、全管路について実施し、管路接続確認書(様式-2)を提出する。			

[illegible]

